

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	施策名	④ 緑と憩いの拠点づくりの推進
------	----------------------------------	----------------	----------------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆市民が身近に親しむことのできるさまざまな緑と憩いの場をつくるため、身近な生活圏の公園整備や拠点公園の整備を推進している。 ◆高齢者や障がい者をはじめとした全市民が利用しやすく、安心して親しめる公園づくりを推進するため、公園バリアフリー化整備に取り組んでいる。 ◆市民に親しめる公園を目指し、市民協働による管理運営を推進するため、公園愛護会の支援に取り組んでいる。	◆総合計画に掲げた施策指標について、市民1人当たりの公園面積は、土地区画整理事業や宅地開発に伴う公園整備により、毎年増加しており、平成24年度目標値を達成している。 ⇒ 公園面積の増加は、当面これまでと同様の見通しであり、平成24年度末は目標値を上回る状況となる。 ◆公園バリアフリー化整備については、着実に事業を実施している。 ⇒ 平成24年度末の見通しとしては、事業を計画通り実施し、目標を達成する見込みである。	102.2%	市民1人当たりの公園面積	m ² /人	10.29	10.33	10.36	10.40	10.43	10.46	102.2%
			既設公園のバリアフリー化公園整備数(累計)	公園	0	7	15	20	25	31	100.0%
課題	◆公園新規整備について、土地区画整理事業や宅地開発事業地に集中するなど公園の配置に課題がある。 ◆市民が利用しやすく、安心して親しめる公園づくりの推進に向け、多様化する利用者ニーズへの対応や、整備・維持管理に係る経費の削減を図っていく必要がある。										
			市民意識調査(重要度・満足度)								
						H20	H21	H22	H23		
			重要度		70.0	67.0	68.2	70.4			%
			満足度		14.5	32.0	34.2	34.6			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
河内総合運動公園整備事業	○整備		◆北部地域のスポーツやレクリエーションの拠点とするため、既に供用している屋内プールや陸上競技場に加え、野球やサッカー等ができる多目的運動場の整備など、河内総合運動公園の整備を推進する。 ⇒平成21年度末に整備が完了し、平成22年度に供用を開始している。	◆平成21年度末に整備完了
宇都宮城址公園土塁内整備事業	○整備		◆「市民の心の拠り所」である宇都宮城址公園の土塁内を活用し、本市のPRを行うとともに、歴史に触れることを通じて郷土への誇り・愛着を醸成するため、宇都宮城址公園土塁内の整備を推進する。 ⇒土塁内の整備に向けて、事業コンセプトは確定したが、整備・運営水準などについて、さらなる検討が必要となり、平成24年度以降も継続検討となる見込み。	◆厳しい社会経済状況の中、整備・運営水準などについて、具体的な検討が必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	身近な生活圏の公園整備	市民	—	街区・近隣公園の整備数	箇所	4	2	4	4	2	A	継続	気軽に緑とふれあえる場やコミュニティ形成の場として、市民ニーズを把握した上で、公園の適正配置に配慮し、国庫補助金等を確保しながら機能的で魅力ある公園づくりに取り組んでいく。
				街区・近隣公園の整備面積	ha	0.8	0.3	0.9	4.2	0.5			
2	公園のバリアフリー化	公園利用者	H13	バリアフリー化公園数	公園	7	8	5	5	6	A	継続	高齢者や障がい者をはじめとした市民誰もが利用しやすく、安心して親しめる場とするため、公園のバリアフリー化を行っていくものとし、事業実施にあたっては、国庫補助金等を確保しながら、遊具の改築事業と合わせて、計画的に進めていく。
						7	8	3	9				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
3	「もったいないの森 長岡」植樹事業	市民	H20	「もったいないの森 長岡」植樹祭参加人数	名	300	300	150	150	150	B	継続	市民協働で植樹事業を実施するため、市民が直接緑に触れることができ、市民の森づくり活動や自然に対する意識の一層の啓発・向上が期待できることから、「樹林地の再生」のコンセプトのもと、「とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金」等、特定財源の導入に努めながら、引き続き「もったいないの森長岡」植樹祭を継続して開催していく。
				植樹面積	m ²	1,000	800	600	600	600			
4	宇都宮市公園愛護会補助金	地域団体	S5 1	公園愛護会設置数	箇所	360	362	361	366	370	B	継続	公園愛護会を育成するため、支援を継続する。また、愛護会構成員の高齢化対策として、今後、より一層、愛護会制度の周知を図るとともに、愛護会の能力や意欲に合わせた活動メニューなど新たな仕組みづくりを検討していく。
						352	351	356	360				
5	宇都宮城址公園土塁内整備事業	市民	H12	多くの市民が参加するイベント開催数	件	12	24	24	24	24	B	継続	土塁内の整備に向けて、事業コンセプトは確定しているが、整備・運営水準などについて、さらなる検討が必要となっていることから、当面は、城址公園の利活用を促進し、土塁内整備の機運醸成を図っていく。
						22	23	24	16				